

チャペルコンサート vol.27 入場無料

9/30(日) 16:00~

9月のコンサートは、本格的なハンドベルの演奏をお届けします。結成20年を迎えるベテランチームの息の合ったベルの響きをお楽しみください。

ベルリンガーズLene

プロフィール

1992年神戸市東灘区で誕生。メンバーは指揮者の米澤京子を中心に12名。Lene(レーネ)とは、イタリア語で「優雅な」という意味。名前の通りのエレガントな演奏を目指して、練習に励んでいる。神戸市内外の幼稚園、小学校、病院、福祉施設などでコンサートを開催。



Topic!!

8/6~7 子どもチャペルのみんなと丹波少年自然の家へ行ってきました。



Information

■ 楽しい賛美と聖書の時間

水曜日 10:30~12:00

聖書の言葉をやさしく学ぶことのできる時間です。一緒に賛美歌やワシントンソングを楽しく歌いましょう。和やかなお茶のひと時もあります。どなたでもご遠慮なくお越しください。

■ 第31回「阪神女性の集い」

10/4(木) 10:15~

於・芦屋ルナホール

メッセージ・下條末紀子

(活けるキリスト-麦西宮教会主任牧師)

恐れや不安から解放され、輝いて生きる秘訣が語られます。音楽ゲストのマリンバアンサンブルDuo*Philiaの演奏もお楽しみください。※入場無料



キリストを現代に伝える人たち

実は意外な人がクリスチャンだった!

先月に引き続き、今月はエンゼルマークの生みの親・森永太郎をご紹介します。

激動の幕末期1865年に佐賀県の陶器問屋に生を受け、幼くして父を亡くし、親類の家を転々としながら幼少時代を過ごす。やがて伯父のもとで商人としての道を進み始め、ひと儲けしようと渡米するがうまくいかず、ヤケ酒に溺れる日々を過ごしていた。ある日失意のうちに公園のベンチに座り込んでいると、一人の女の子がキャラメルを手渡してくれた。それを食べた時の感動が、彼の菓子職人になるきっかけとなる。その後、教会に住むようになった彼は、クリスチャンの愛にあふれた姿に心を打たれ、自らもクリスチャンになることを決心する。そして、菓子作りの技術を習得し、日本に帰国。彼が世に打ち出したミルクキャラメルはヒット商品となる。商標のエンゼルマークは、「子どもたちに喜びを」という願いからつけられたという。

「イエスは子どもたちを抱き、彼らの上に手を置いて祝福された。」

(聖書)

宝塚栄光教会

牧師：岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

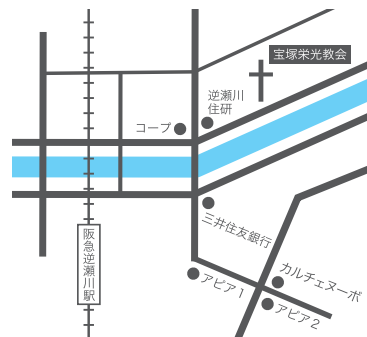
E-mail: iwama@takara-eiko.com http://www.takara-eiko.com

希望のダイヤル **0797-77-3746**

毎週更新。24時間つながります。

ポッドキャスト
始めました。
ホームページから
利用できます。

わたしたちは統一教会、ものみの塔(エホバの証人)、モルモン教ではなく正統的なキリスト教会です。もしお困りの方はご相談ください。



2012

9月号 61

宝塚栄光教会

苦しみの中から学ぶもの

スウェーデンの福音歌手、レーナ・マリアさんをご存知でしょうか。レーナさんは、生まれたときから両腕がなく、左脚が右脚の半分という重いハンディーをもっていました。しかし、クリスチャンの両親は、愛と勇気をもって彼女を育て、レーナさん自身も、いじけたり、ひがんだりせず、イエス様を信じて、明るく、おおらかに成長していかれました。

私は、以前に彼女が来日されたとき、コンサートに行きましたが、その美しい、はつらつとした歌声に、満堂の聴衆はすっかり魅了されてしまいました。また、彼女のお話を聞いていると、彼女は心からキリストを信じ、キリストを愛し、一人でも多くの人に神の愛を伝えたいという思いだけで歌っていることがよくわかりました。

聖書にこういう言葉があります。「苦しみに会ったことは、私にとってしあわせでした。私はそれであなたのおきてを学びました。」(詩篇 119 篇 71 節)

そう安易には言えない、ずっしりと重み

のある言葉ですね。誰でも苦しみは避けたいと願います。そして、言われ無き苦しみにあうと、“神も仏もあるものか”とつぶやきたくなるのが普通でしょう。しかし、苦難によって練り鍛えられ、生きるまことの神に出会い、生きる喜びを知るようになることもあるのです。

私は、最大の苦難に遭った御方を知っています。イエス・キリストです。キリストは、神のひとり子であり、罪のないお方でしたのに、十字架にかかって死なれました。それは私たちの罪のためでした。キリストは、罪のために滅びゆく私たちの身代わりに十字架にかかれ、私たちが滅びなくてもよいようにしてくださったのです。

もしあなたが苦しみの中におられるなら、私たちのために苦難にあってくださいましたイエス様を知っていただきたいのです。そして、後になって、あの苦しみが、私のために良かったと言うことができる人になっていただきたいのです。

「わたすげ」

立秋の声を聞き
日暮れると 身に秋風を
感じるようになった頃
山あいの湿原を 訪れた

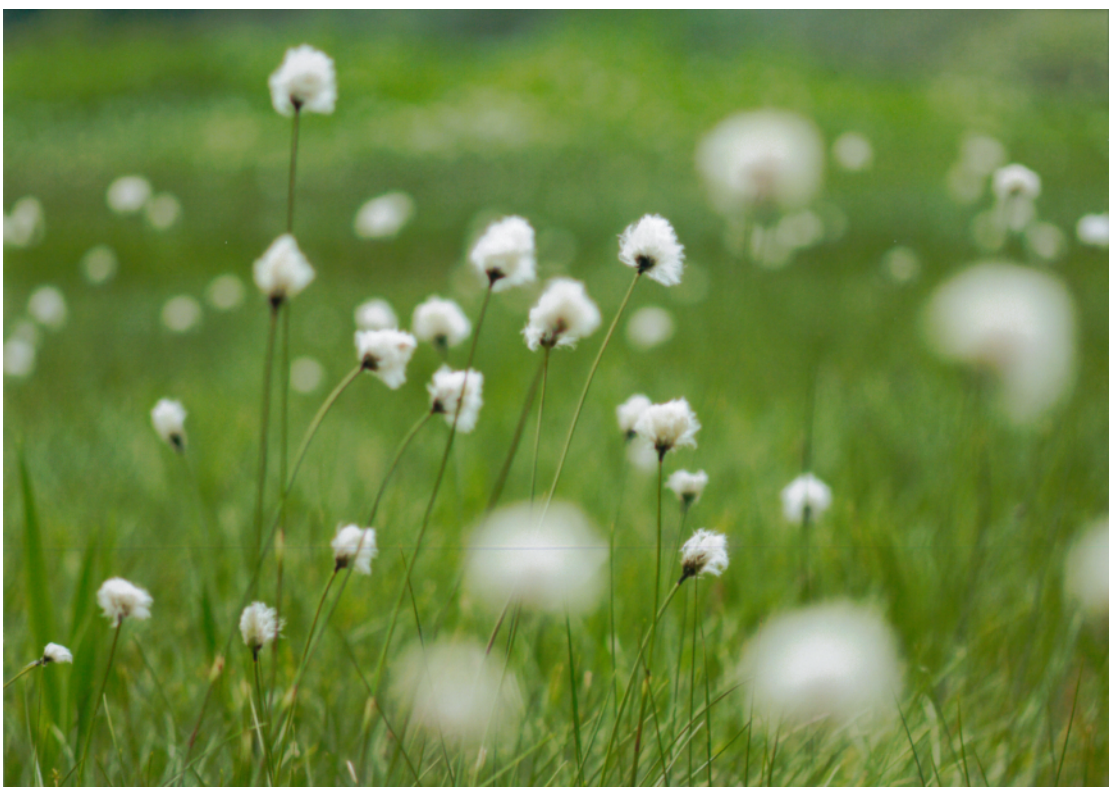
この時期に 飛び立つ
わたすげの姿を
目におさめようと思って

とはいえ 日射しはぎんぎんと高く
秋の装いどころでは なかった
それでも 木かげに立つと
もう あの夏の力はない

わたすげは か細い茎の先に
わたぼうしを のせていたが
すでに 夏の初めの勢いは 失せて
今は 静かに
休息に 入ろうとしているかのようだ

そして 風に乗って
わたすげの子どもらが 舞い始めていた
また来年…

美しい自然の営みに 胸ゆさぶられて
空を見上げると
確かに秋が 近づいていた



天が地を 高く超えているように
わたしの道は あなたたちの道を
わたしの思いは あなたたちの思いを
高く超えている

雨も雪も ひとたび天から降れば
むなしく天に 戻ることはない
それは大地を潤し 芽を出させ
生い茂らせ 種蒔く人には種を与え
食べる人には 糧を与える

そのように
わたしの口から出るわたしの言葉も
むなしくは わたしのもとに戻らない
それはわたしの望むことを 成し遂げ
わたしが与えた使命を 必ず果たす

(聖書)